

COIプログラムからCOI-NEXTへ、 今後の期待

COI V1 ビジヨナリーリーダー 松田 譲

1. バックカスティング：目指すべき将来の姿から
2. アンダーワンルーフ：自前主義からの脱却
3. ベンチャー創出： 3P
4. 最後に

『目指すべき将来の姿』からのバックキャスト

東北大学拠点では、2017年の新体制下で**目指すべき将来の姿**を検討し、そこからの**バックキャスト**を改めて実施。

和賀 PL

NECソリューションイノベータ(株)
プロフェッショナルフェロー



バックキャストイング

若手・女性研究員を中心に、**大学研究者と参画企業が一堂に会して、未来ビジョン実現に向けたバックキャストイングの議論を実施**(2017年11月28日、2017年12月7日)



未来の健康を担う、**自助と共助**を支えるCOI東北拠点
-公助に代わる、自助と共助の担い手



アンダーワンルーフ：自前主義からの脱却

多大学間連携によるBD解析チームの構築

～バイオインフォマティクス・生物統計・臨床統計分野の専門家が集結～

生物統計×バイオインフォマティクス×機械学習×スーパーコンピューティング×シミュレーションの融合

DB構築▶疾患予測AI開発へ

京都大学

新たな疾患概念の構築



大学院医学研究科
ビッグデータ医科学分野

奥野 恭史 教授
(BD解析タスクチームリーダー)

腸内細菌と肥満の関連解析へ

東京大学

ヒト属性と腸内細菌組成との関連解析



大学院医学系研究科
生物統計学分野

松山 裕 教授

弘前COIを中心とした 強力なBD解析体制



弘前大学
Hiroaki University



HIROSAKI COI
center of innovation

統括: 中路特任教授(弘前大)

腸内・口腔内細菌の徹底解析へ

東京大学

ゲノムデータ解析による疾患予兆発見の開発



医科学研究所ヘルスインテリ
ジェンスセンター健康医療
データサイエンス分野

井元 清哉 教授
(BD解析タスクチームサブリーダー)

名古屋大学

生活習慣病の予兆法開発



大学院医学系研究科
看護学専攻健康発達看護学
講座

中朽昌弘 准教授

東京医科歯科大学

MCI予兆法の開発



臨床試験管理センター
生物統計学・データサイ
エンス部

平川晃弘 教授

認知機能と睡眠の関連解析へ

社会実装の実現に向けたベンチャー創出

川崎拠点は、2045年に拠点ビジョンの実現を目指しているが、**論文化**や**知財化**を確実に進め、それらの**技術移転**や**知財のライセンスアウト**により、**社会実装に向けての拠点成果の受け皿**として**拠点発ベンチャーを創設**

2016年に新設し、2020年9月にナノキャリアと合併



iXstream

iXflow

Start-upsの設立: 5社

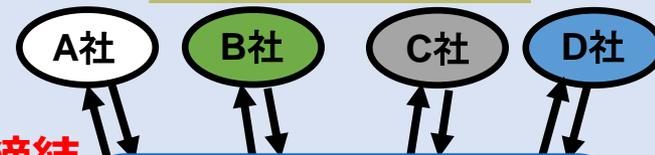


iCONM 一木研究室と二コンとの産学連携の成果を基に新設(2019)

ブレイゾン・セラピューティクス(2015年)

- 2017年からCOINSに参画
- **6.4億円の資金調達 (2018年度)**
- 2019年2月 **海外大手バイオ製薬企業と共同研究契約締結**
- 2019年4月 **LabCentral (ボストン)** にも研究室
- 2019年6月 **J-StartUp企業**に選定
- 2019年 B社(国内)とF/S進行中。C社(海外)と秘密保持契約/試料提供契約を締結しF/Sを検討中

国内外の製薬企業



社会実装に向けてのCOINS成果の受け皿



知財を集約

